

(様式1)

授業科目 言語発達学

科目コード番号

【担当教員名】 市島民子	対 象 学 年	2	対 象 学 科	言語
	開 講 時 期	前期	必修・選択	必修
	単 位 数	1	時 間 数	15

【概要及び学習目標】

<概要>

乳幼児期は、言語発達の基盤であるコミュニケーションおよび音声の発達を中心に、児童期は、読み、書き能力に関して視聴覚機器を使用して解説、学習する。

健常児の言語発達は、言語発達障害の基盤であり、臨床の評価、指導のために必須な学問である。基礎を確実に学習してほしい。

<学習目標>

- ・人のコミュニケーション関係の始まりおよびコミュニケーション関係が成立し、維持するための条件・要因を、発達の諸側面との関連で理解する。
- ・音声発達では、発声から音声への過程、意味、構文について理解する。
- ・音韻発達と読字および書字の能力について理解する。

回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容	学習方法
1	言語発達とその関連領域	全体発達の一領域としての言語を理解する	講義
2	乳児のコミュニケーション(1)	コミュニケーションの発達：母（養育者）とのかかわり 視ること	講義・VTR
3	乳児のコミュニケーション(2)	聴くこと（perception）	講義・VTR
4	乳児のコミュニケーション(3)	発声から音声へ（production）	講義・VTR
5	音声発達	分節素と超分節素の特徴	講義・VTR
6	言語発達	語彙、意味、構文	講義
7	文字言語	読みと書字	講義

【評価方法】

出席

レポート提出（小グループでの課題報告、提出）

試験

【履修上の留意点】

言語発達障害Ⅰ，言語発達障害Ⅱとの間で授業時間の一部を交換することがある

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害Ⅰ：ことばの 発達入門 他随時紹介	秦野悦子編	大修館書店	2001年、2200円 ISBN：4-469-11062-0
その他 (プリント等)	プリント使用			